

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表	2020年3月31日	事業所名	ベストライフ株式会社 放課後等デイサービスすみれ
----	------------	------	--------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・2部屋あり、用途によって使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・児童の安全面を重視し配置基準より多く配置したり役割分担をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・角のある柱にウレタンを巻く等配慮している。 ・必要な部分に手すりを設置している。	・段差：視覚支援の必要な児童に対し、声かけ、見守りを必ず行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・会議の中で目標設定をし職員間で共通理解した後実行している。 ・振り返りの為再度検討会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者面談を同時に行い、意向の確認を行っている。集約した意見を職員で共有し改善策を話し合う。	・定期的に振り返りの会議を設定する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・事業所掲示、保護者会で公表を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・評価委員会の設置を検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部の研修を積極的に受講している。	・研修委員会を設置し、年間を通して職員研修が充実するよう計画を立てている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・利用開始前、3ヶ月ごとのモニタリング時に必ずアセスメントを行い、ニーズを把握している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・社内共通のアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラス会議を設定し、話し合いを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・月案を作成し、週案で細かくプログラムの再検討をすることで固定化を防いでいる。 ・季節の行事を多く取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・午前中、午後の活動に変化をつけ、各々に課題を設けている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・集団活動において、子どもの能力や意欲を考慮し、数種類の活動を準備している。 ・個別活動の時間を定期的に設け能力に合わせた活動を準備している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・支援開始時、別業務等で出来ていない時があるが、職員の見える化を図り事前に周知し支援がしやすい体制を整えている。	・支援開始前に職員が揃わないことがあるため、事前の確認、職員の理解を統一するように努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・短時間の振り返りや日誌の記述を必ず行い、共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録を振り返り、支援計画に反映させている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・3ヶ月に1回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・ガイドラインを基本としている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者、担任が参加している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・学校によって差があるが、必要時に連絡調整を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・アセスメント時に必ずかかりつけの病院と主治医の確認を行っている。 *現在対象児童なし	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・担当者会議等で情報交換を行っている。	・就学前より家族、関係機関で就学サポートノートを作成し、情報共有をしやすいようにしていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・担当者会議で行う予定である。 *現在対象児童なし	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・利用している子どもの受診同行や関係者会議の中で助言を受けている。 ・外部の研修に積極的に参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・夏祭りは地域の住民の方へ参加を呼びかけ参加してもらっている。	・今後学校や地域と協力して機会を作っていく。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		・管理者がおもに参加している。	・積極的に参加しやすい勤務体制を整えていく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時、必要時に電話連絡を行い、状況を伝えている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・職員に対しペアレントトレーニングを現場で実践できるよう研修を定期的に行っていく。	・自閉症スペクトラム支援士、特別教育支援士の資格をもつグループ内の職員によるペアレントトレーニングを実施しているが、職員の全体周知が必要である。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・管理者が必ず行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者面談や必要時に応じている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者交流会を年に2回開き、交流が図れる機会を作っている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・対応の体制をマニュアル化して職員全員に周知している。 ・苦情があった場合は早急に対応し、必ず記録に残している。 ・ご意見ボックスを玄関に設置している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎日の連絡帳でお知らせしている。 ・2ヶ月に1度くらすだよりを発行している。	
	35 個人情報に十分注意している	○		・十分注意し取り扱いを行っている。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・分かりやすい表示を使用したり伝え方を工夫している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・夏休みに交流会を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・マニュアルは策定し全職員に周知している。 ・保護者にも説明を行っている。	・マニュアルに対する研修、振り返りを毎年必ず行う。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年に2回行っている。 ・地域の消防署にも協力を得て実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待研修を年に1回行っている。 ・ヒヤリハットであがった場合随時研修を行い、改善している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・身体拘束の必要性について、今後職員間・保護者で周知する様にしていく。 *現在対象児童なし	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アセスメント時に保護者と確認をとっている。 ・必要に応じ医師の指示書をもっている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットは記録を必ずとり、職員間で振り返りを行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。